資料１－１

平成２５・２６年度

モノづくり支援施策のあり方検討部会

モノづくり支援再興戦略

1　小規模企業にきめ細かく光を当てた支援
2　モノづくり支援策を‘つなぐ’橋渡しの強化

①高付加価値化に向けた支援の強化
【重点施策】 成長分野への参入と企業間等の連携支援を強化

②モノづくり人材の育成・確保、事業承継の促進
【重点施策】 モノづくり人材育成の強化と円滑な事業承継支援策の検討・実施

③操業環境の維持・確保
【重点施策】 住工共生のまちづくりの更なる進展に向けた優遇策等の充実

④販路開拓支援の充実
【重点施策】 モノづくり企業に対する販路開拓の一貫した支援

平成２７・２８年度

モノづくり部門会議

円滑な事業承継に向けて

「円滑な事業承継支援策の検討・実施」に向けて、調査及びあり方を検討

【円滑な事業承継に向けて、支援策を講じる】
①相談窓口の強化：ワンストップ機能の強化
②事業承継セミナー開催：現経営者セミナーや後継者向けのシリーズ型セミナーを開催
③フォローアップ調査と事例レポートの作成：事業承継調査などのフォローアップ調査を実施し、事業引継の事例を創出

【モノづくり企業の技術の継承を側面からサポートする事業】
1．高度な加工技術を有する企業の発掘と情報発信
　モノづくり企業の高度な加工技術調査を行い、企業情報を発信
2．モノづくりを担う多様な人材確保（若者、女性、高齢者等）
　モノづくり企業の魅力を伝え、就職するきっかけづくり

都市ブランド形成推進事業（平成２９年度）

東大阪市 都市ブランド形成

○市内モノづくり企業全数アンケート調査
○市内モノづくり企業ヒアリング調査
○文化行政施策、地域資源調査

情報デザイン（プロモーション）
- ○都市フォント製作
- ○ラインスタンプ作成
- ○市内企業映像撮影
- SNS、各種メディアへ発信

空間デザイン（拠点づくり）
- ○モノづくり試作工房のプロダクター、デザイナーと製造業者が出会う製品開発の拠点化

体感デザイン（イベント）
- ○技術展覧会企画提案
- ○イベント企画提案
- ○市民・学生向けモノづくり体験イベント

平成２９・３０年度

モノづくり振興部門会議（仮）

設置目的

本市では、モノづくり企業の活性化や集積維持に向け、４つの施策方向に加え、都市ブランド形成推進事業に取り組むなど、一定の方向性が示されており、これらに則った施策を、スピード感を持って展開していくことが求められていると認識している。

このような中、IoT を通じて蓄積されたビッグデータを活用した AI による自動化といった第四次産業革命の進展を背景に、モノづくり企業を取り巻く外部環境の変化により経営環境も大きく左右されることも懸念される。

そこで、今日的な課題として３つのテーマを掲げ、そのテーマごとにご意見を頂戴しながら速やかな施策展開につなげるべく、振興会議のもとに、専門的な知見を有する方々から構成される（仮称）モノづくり振興部門会議を設置するもの。

議論のテーマ（案）

○第１回部会
・「平成３０年度新規拡充事業の効果的・効率的な実施に向けて
・モノづくりブランディングアンケート調査結果の報告

○第２回部会
・「モノづくり試作工房の活用を踏まえた産業技術支援センターの今後のあり方について」
　モノづくり試作工房の活用に向けた提案を踏まえ、産業技術支援センターの今後のあり方を検討

○第３回部会
・「支援施策の再構築」
・住工共生のまちづくり関連施策の見直し（住工審議会）報告
　各種補助制度等のあり方にかかる意見聴取

○第４回部会　この間の議論を意見書としてとりまとめ

部会スケジュール予定

平成３０年	５月	第１回	部会
	７月	第２回	部会
	１０月	第３回	部会
平成３１年	１月	第４回	部会